

南区 区域まちづくり事業 効果検証シート

事業名称		実施主体					
ハッピーファーストブック		南区役所区政企画室・南保健センター・南図書館・子育て支援課					
事業目的	事業内容	活動指標	R4	R5	R6		
(乳幼児期に)絵本の読み聞かせを通して親子が心ふれあうひとときを持つことで、親子の絆を深め、子どもが心健やかに成長することを応援する。	図書館及び地域ボランティア等と連携し、南保健センターが実施する4か月健診時に、赤ちゃんと保護者に絵本の紹介や読み聞かせを行う。また、1歳になる頃に絵本を配布することで、親子のふれあいを支援する。	絵本の配付数	613冊	556冊	57冊		
		対象者へのアンケートによる子どもとのふれあいへの役立ち度の測定	役立った 93.5% わからない 5.2% 無記入 1.3%	役立った 96.8% わからない 2.7% 無記入 0.5%	役立った 91.7% わからない 3.6% 無記入 2.8%		
①妥当性		②協働の視点		③インパクト		④効率性	
○	当事業は、堺市南区基本計画基本方針2「ひとがいきいきと輝き、健やかに成長することができる都市(まち)」のための取組のひとつである。絵本の読み聞かせを通じて、親子のふれあいの時間を増やし、親子の絆を深めることを目的としており、実施の妥当性は高い。	◎	4か月健診時にボランティアによる読み聞かせを実施し、1歳になる頃に区内図書館や子育て支援施設で絵本を配布するなど協働で実施することができた。	○	読み聞かせ時にリーフレット「赤ちゃんと一緒に絵本の世界へ」を保護者に配布し、絵本を活かした子どもとのふれあい方、親子の時間の楽しみ方など読み聞かせの重要性を啓発することができた。	△	絵本の配布場所変更に伴い、区内図書館や子育て支援施設の利用に繋げることができたが、絵本の配布数は減少した。
⑤自立発展性		総合評価					
○	どのような本を選定するのか、本に関して専門性の高い南図書館職員が行っているため、絵本の紹介や各家庭においても読み聞かせを実施してもらえるように伝えることができる。	○	今年度から、絵本の配布時期を4か月健診時から1歳になる頃に変更し、また、地域における居場所の構築や各施設との関係性の構築、子育て支援の拡充を目的に、配布場所を南区内の図書館(3カ所)やみんなの子育てひろば(9カ所)に変更した。その結果、絵本の配布数は減少したが、保護者と各施設との関係性の構築の視点においては、一定成果が得られた。				
今後の方向性(課題、改善提案等)							
拡充 継続 見直し 廃止	今年度から、絵本の配布時期と配布場所を変更したため、区内の図書館や子育て支援施設の利用に繋げることができたが絵本の配布数が減少した。本事業は、絵本の読み聞かせを通じて親子の絆を深めることを目的としたものであり、絵本を受け取られていない人のために配布の機会を増やすことが課題となっている。令和7年度については、絵本を受け取られていない保護者を対象に、1歳6か月健診で絵本を配布するなど、配布時期や配布方法を検討しながら事業を継続していく。						